

第 22 回 丹沢大山自然再生委員会（令和 3 年度総会）（オンライン開催） 議事録

日時： 令和 3 年 6 月 25 日（金） 14:00～16:10

○事務局 新谷課長

定刻となりましたが、開会に先立ちまして、画面上で出席者の確認をさせていただきます。そのまま、しばらくお待ちください。

本日初めての試みのオンライン会議ということで、表決委任と書面表決を組み合わせたハイブリッド形式で開催します。事前に委任状をいただいた方が 16 名、書面表決をいただいた方が 12 名、そして本日のオンライン会議の出席者は 12 名です。また本日はオブザーバーとして環境省の清野様、環境科学センターの坂本調査研究部長（代理）に出席いただいております。

委任状と書面表決、そしてこのオンライン出席者の総計は、40 名です。書面表決ではすべての議案に賛成していただきました。このあとの議事では出席者 40 名の過半数をもって決することをご報告いたします。

では、あらためまして、ただいまから第 22 回「丹沢大山自然再生委員会」を開会させていただきます。ここからの議事進行につきましては、羽山委員長にお願いいたします。

○羽山委員長

皆さん、こんにちは。本日は、お忙しいところ、丹沢大山自然再生委員会へご出席いただきまして誠にありがとうございます。お陰様で再生委員会は 2006 年にスタートしまして、15 年の歳月を重ねてきました。本日 22 回目の委員会となります。ただし、昨年度はコロナ禍のこともあり、総会も活動報告会も中止となってしまいまして、大変申し訳ありませんでした。今年度も引き続きコロナ禍ですが、昨年度は幹事会や事業評価部会でオンライン会議を取り入れて何とか使えるようになりました。そこで、今回はじめてとなりますが、総会でもオンラインを導入しました。いろいろとご不便をおかけすると思いますが、どうかご容赦願います。

さて、県の丹沢大山自然再生計画は今年度は第 3 期計画の 5 年目にあたります。本来なら、来年度からの第 4 期に向けて色々と議論したいところですが、後ほど県の方からご紹介がありますが、コロナ禍の影響で計画策定は 1 年延期となったそうです。計画改定に向けて、昨年 11 月に再生委員会は県知事宛てに意見書を提出したところです。その意見書に沿って計画を改定して自然再生事業を実施するよう、あらためて県にお願いしています。

本日の委員会ですが、昨年度の事業実績や決算をご報告した後に、役員・幹事の改選に入ります。新たな体制で、今年度の事業計画と予算をご審議いただきます。また今年の活動報告会、おそらく本日のようなハイブリッド方式にせざるを得ないかと思っておりますが、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。それから、各専門部会のご報告を例年行っておりますが、コロナ禍でいろいろな事業が中止になったと聞いております。そういったものについても情報共有していきたいと思っております。本日は内容が盛沢山ではありますが、円滑な議事の進行にご協力をお願いいたします。

それでは、議事に入りたいと思います。まず、第 1 号議案の令和 2 年度事業実績報告と第 2 号議案の

令和2年度決算報告について、あわせて事務局から説明をお願いします。

【第1号議案】 令和2年度事業実績報告（企業等からの寄付報告含む）

【第2号議案】 令和2年度決算報告

<事務局より資料1、2にもとづき説明>

○羽山委員長

監事のお二方は委任状表決と書面表決の参加のため本日いらっしゃいませんが、事務局の方から決算、監査報告をお願いします。

【第3号議案】 令和2年度監査報告

○事務局

資料3にありますように、橘田監事には令和3年5月27日に、谷監事には5月25日に書面にて監査していただきました。お二方からは収支決算が適正に処理されていることを確認していただきましたことを報告します。

○羽山委員長

ありがとうございました。今のご報告につきまして、ご質問・ご意見ありましたらお願いします。

<質疑応答> 無し

○羽山委員長

では、第1号議案の「令和2年度事業実績」と第2号議案の「令和2年度決算報告」、第3号議案の「令和2年度監査報告」について、承認をお願いしたいと思います。ご異議なければ、拍手をお願いします。」

○一同 拍手

○羽山委員長

ありがとうございました。本件はご承認いただいたこととさせていただきます。

寄付のご協力をいただきました、ウェインズグループ様、ありがとうございました。

続きまして、第4号議案の役員・幹事・監事の改選について、事務局から説明をお願いします。

【第4号議案】 役員・幹事・監事の改選について

<事務局より資料4にもとづき説明>

○羽山委員長

皆様、事務局から説明があったように、私の後任に勝山委員、久保副委員長の後任に滝澤洋子氏、谷監事の後任に小川氏、そして、勝山事業評価部会長の後任に秋山委員が選任されたということで、これについてご意見ご質問がありましたらよろしく申し上げます。

もし、ご異議がなければ拍手をいただけますでしょうか。

○一同 拍手

○羽山委員長

ありがとうございます。それではこの新体制で今後の運営をお願いしたいと思います。本日出席しております、退任する委員と後任の委員からそれぞれご挨拶をいただきたいと思います。

まず私からですが、本日この委員会で退任させていただきます。初代の木平前委員長には、この委員会の立ち上げの2006年秋から2012年の3期にわたり6年勤めていただきました。私は4期8年務めさせていただきました。2013年の就任のご挨拶として、この委員会の皆様に2つのことを約束しました。一つは総合調査団から再生委員会が生まれたわけですが、やはり原点は再生委員会の自主的な調査活動、科学的なデータに基づいて様々なところに提案し、自らも動いていく、そうしたことを考えて、調査を中心とした自主事業を展開していきたい、そうしたことで調査専門部会を設置したいとまずお話ししました。この部会については糸長先生に部会長をやっていただきまして、その成果をさらに活動報告会で発表するという、そうしたことで報告会を活性化するという方針でやってきました。それについては助成事業に毎年若い方に参加していただきまして、少しずつですが活発化してきたと思います。

二つ目の約束は、幹事会と専門部会は特定の方で構成されていたわけですが、再生委員会の構成メンバーがどれかには関り、構成団体の若いメンバーにも参加していただき、全員参加型の運営をしていきたいというお話をしました。名簿を見てわかるように、全員とまではいきませんでした。ほとんどの委員の方が専門部会に参加していただいて、少しずつですが意見をそれぞれの立場から反映できるようにしてきたつもりです。そういう意味で、昨年コロナ禍で運営が停滞しましたが、そこそこやれたのかと思っています。何よりも再生委員会の立ち位置である、再生事業、多様な主体が関る事業に対して、まずは道筋、方向性を示すという基本構想を提案してきた提案者でありました。それから、そこに大きな行政の様々な事業が関るわけですが、その監視役という立ち位置を崩さないようにしようと、こうした役割を一定程度果たすことができたと思います。実際、県を中心とした再生事業で、とくに下層植生の回復をはじめとして一定の成果がみえてきました。ただ、新たな課題も年々増えてきています。たとえば気候変動の問題、マイクロプラスチックに代表される新たな環境汚染の問題、それから今回の新型コロナもそうですが、人と野生動物と家畜との共通感染症の問題。この感染症に関しましては、先駆けて研究助成のプロジェクトでいくつかの研究チームに成果をあげていただいています。そうしたまだ緒に付いた取組を今後も発展させていく必要があると考えています。繰り返しになりますが、原点は、我々は調査団の精神を引き継いでいくこと、また、みんなが市民科学者として科学的データをもとに様々な行動や提言をしていくこと、そして再生委員会として継続していく必要があるということです。そういう点では次世代の育成が今後の非常に大きな役割になると考えています。私は委員長を退任しますが、そうした面でもまた今後もお役に立てるように頑張りたいと考えています。本当に長い間お世話になりま

した。皆様のご協力に感謝いたします。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

そうしましたら次は久保副委員長さん、ご挨拶をお願いします。

○久保副委員長

この度の総会で引退します久保でございます。県民事業部会長と副委員長を4年、それから副委員長を2年勤めさせていただきました。私の印象に残っているのは県民事業部会長のときで、部会を構成する各団体と調整しながら発表会を開催したということが非常に印象に残っています。そのような機会は今の時点ではなくなったようですが、あのときのように各部会、地域の部会が色々と発表するというのは、別の意味で良い機会であったと思っています。今、羽山委員長が言ったように、私はついていくだけという2年、そういう感じで過ごしてきたような感じです。私自身が大した成果もあげずに去ることに対して少し心残りではありますが、後任の滝澤さんが副委員長になってくれるということで安心していきます。彼女は非常に意欲的ですし、実際の作業もできるし、動植物の調査についても非常に経験もあるので、今後十分に活躍してくれるものと思っています。6年間ですが本当にお世話になりました。ありがとうございました。以上です。

○羽山委員長

ありがとうございます。そうしましたら、次期委員長の勝山さん、挨拶をお願いします。

○勝山新委員長

皆さん、こんにちは。次期委員長、新たな委員長として仰せつかりましたが、少々頼りない委員長かもしれませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。私は丹沢大山の問題には二つ前の丹沢総合調査から関わってきました。当時学校の教員をやめて博物館の学芸員になってすぐの頃で、丹沢で林床のスズタケが枯れたり、ブナがちょっと元気がないという話が出てきて、どうしたのだろうと話題になった頃でした。私も当時はよく丹沢に登っていたので、とくに東丹沢の方で異常な状態になってきていました。当時、横浜国大の遠山先生や平塚市博物館の浜口先生たちが一緒になって総合調査を組んで、その中の生物系として植物調査を担当したのが現在の再生員会の前身との関わりです。当時中心にかかわった方々が皆さん引退されて、今残っているメンバーを見てみると、その次の2回目の総合調査ですね、そして再生委員会ができるときのメンバーが大半になってきています。このところの再生委員会の事業評価部会では事業に長くかかわってきているのですが、見渡してみるとだいぶ人が入れ替わってきました。でも、まだまだもっと若い人が中心としてやっていかなければならないというのが私の気持ちです。そういう中で委員長を引き受けるのですが、木平先生や羽山先生のように、この次はあまり長くやっちはいけないのかと、何とか若返りの道筋をつけるのが私の役目と感じています。そのためには、時間だけは丹沢と長くかかわってきましたので、そうした意味で皆さんのいろんなことを考えていくのにお助けできるかもしれないと思っています。大してお話はできませんでしたが、ここ数年、再生委員会にどんどんと新しい空気を呼び込んでくるということに重点をおかなければいけないと思っています。新任の挨拶としてはそんなところで失礼します。どうぞよろしくお願いいたします。

○羽山委員長

よろしくお願ひします。そうしましたら、次期副委員長の滝澤さん、挨拶をお願ひします。

○滝澤新副委員長

はじめまして。かながわ森林インストラクターの会の滝澤洋子です。資料では前理事となっていますが、元理事が正しいです。私は森林インストラクターとして、やどりき水源林での森の案内人や、小学校や企業の方たちに森林での活動、または神奈川トラストみどり財団の県民参加の森林づくりでお手伝いさせていただいています。また、以前は森林探訪にも関わっていましたが、今は森林部会という森林整備関連の部会でインストラクターの技術の底上げを目的とした研修会や、自分たちでも森林整備していかうということでやどりき水源林の人工林整備や、伊勢原市聖峰の下にある里山で里山整備をしたりしています。このたび、インストラクターの会の久保理事長の後任として委員会に入れていただくことになりましたが、いきなり副委員長という重い役を承りまして少々とまどっています。可能な限り色々な場面で参加させていただいて、早くお役に立つようにしていく所存でございます。どうぞよろしくお願ひします。

○羽山委員長

そうしましたら、次は新事業計画評価専門部会長の秋山さん、挨拶をお願ひします。

○秋山新事業計画・評価専門部会長

事業計画評価専門部会長として承りました秋山です。よろしくお願ひします。前任の勝山さんが丹沢の峰々、沢、尾根くまなく歩きまわってこられたのに比べて、私は相模原市が2007年2008年に合併して丹沢山城が市域に入ったところがスタートということもありまして、第1期の総合調査の頃には全然参加していませんでしたし、あとから来たということもあって何となく後ろから付いていけばよいような気分でした。しかし、いよいよ自分の年齢を考えると、こういう役回りを断つてはいけないと思い、部会長を承ることにしました。今ここに参加されている皆さんと比べると、丹沢で流した汗の量は圧倒的に少ないという引け目がありますが、土地柄ヤマビルに吸われた血の量は皆様に負けていないのではないかという気がしています。そういうことも考えながら世代的に近い田村さん達に助けてもらいながら、役目を果たしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

○羽山委員長

(事務局へ) あの方のご欠席ということによろしいですね。

○事務局

はい、そうです。

○羽山委員長

では、ご挨拶は以上です。新しい体制で今後ともどうぞよろしくお願ひします。

そうしましたら次の議案からは新委員長に引き継いでよろしいですね。勝山さん、よろしくお願ひします。

○勝山新委員長

羽山先生、長い間ご苦勞さまでした。ありがとうございました。引き続いて、今日の議事を進行させていただきます。

それでは、第5号議案の令和3年度事業計画（案）と第6号議案の令和3年度予算（案）について、事務局から説明をお願いします。

【第5号議案】 令和3年度事業計画（案）

【第6号議案】 令和3年度予算（案）

<事務局より資料5、6にもとづき説明>

<質疑応答>

○勝山新委員長

今のご報告につきまして、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

○秋山新事業計画・評価専門部会長

新型コロナウイルスの影響で、今年度中はオンライン上でやりとりする状況が続くと思います。神奈川県の方で zoom 等の契約はするのでしょうか。それとも、丹沢大山自然再生委員会でオンラインに関する予算をつける考えはあるのでしょうか。

○事務局

本日使用しているホストのパソコンは、丹沢大山自然再生委員会のものです。zoom の年間契約をしていますので、再生委員会が主催・共催するイベント等あれば、このパソコンを使用させていただいて、構いません。

○勝山新委員長

すでに、部会・幹事会等は、zoom で会議を行っていますが、始めたばかりの頃は、なかなか上手くいきませんでした。本日の総会に関しては、快適に使用できています。今後、何らかの活用方法を検討していく必要があると思います。

○秋山新事業計画・評価専門部会長

もうすでに、zoom の契約をしているということで、承知しました。ありがとうございました。

○勝山新委員長

ありがとうございました。事業計画の中にある活動報告会につきましては、次の第7号議案のところで事務局から説明してご意見を伺いたいと思いますが、ご質問等ございますでしょうか。

○糸長委員

予備費がたくさんあるようだから、小中学生用のビデオやスライドを準備してはどうか？以前も作っ

たが最新のものにしてほしい。ぜひ検討してほしい。

○事務局

どうもありがとうございます。保全センターの方でもちょうどいま視聴覚資料を作り始めたところです。今後幹事会や各専門部会の皆さんと相談して進めていければと思います。今まで作ったものを生かしながらあまり時間をかけずに進めて行ければと思います。よろしく願いいたします。

○勝山新委員長

保全センターの方でも考えていただくと同時に幹事会や各専門部会でも話題にして取り組み始めていただければと思います。

○齋藤委員

予備費が多いのでその使い道について検討する必要があると感じています。

○事務局

承知しました。幹事会でもこういった話題が出ているところです。現在は新型コロナウイルス禍という特殊な状況で先が見通せない中でどう扱うかについては、様子見ながら、これまで皆さんからいただいているご提案を含めて、幹事会あるいは委員の皆さんとともに使い道について検討していきたいと思っています。今回の予算については今後のこともあるのでこの金額で進めていきたいと思っています。

○勝山新委員長

他に質問はありますか。無ければ第7号議案の「令和3年度丹沢大山自然再生活動報告会について」、事務局から説明をお願いします。

【第7号議案】 令和3年度丹沢大山自然再生活動報告会について

<事務局より資料7にもとづき説明>

○勝山新委員長

ありがとうございました。時間の都合もあるので幹事会で検討させていただくということですが、なかなか文書を事務局に送ってまとめるのは大変かもしれないので、この場で提案したいことがあればお伺いします。いかがでしょうか。

<質疑応答> 無し

○勝山新委員長

では、この内容で検討しているということで、承認していただける方、拍手をお願いします。

○一同 拍手

○勝山新委員長

拍手をいただいたということで、幹事会で検討させていただきます。また、事務局の方へ提案願います。

以上ですべての議案が終了しました。ここで10分の休憩に入ります。15時15分から再開します。

<－休憩－>

【報告事項（1）】専門部会からの報告について

○勝山新委員長

それでは各専門部会からの報告事項に入ります。まず、事業計画・評価専門部会です。昨年度までの部会長は私でしたので、私から報告します。

（ア） 事業計画・評価専門部会

<勝山部会長より資料8にもとづき令和2年度の活動状況を報告>

○勝山新委員長

事業計画評価・専門部会については以上ですが、糸長先生の方から補足することはあるでしょうか。

○糸長委員

2回目の部会あたりが宿題になった。

1回目の部会の際には会場の自然環境保全センターに行けなかったのですが、「丹沢再生絵巻」は公開されているのですか、ネットか何かで。

○事務局

自然環境保全センターの展示室で見ることができます。壁に掲示されています。ホームページ上でも見ることができます。

○勝山新委員長

なかなか楽しい絵巻なので、ぜひ一度保全センターに足を運んでご覧になっていただきたいです。

○糸長委員

教材に使えるかと思って質問しました。

○事務局

ただ眺めるだけではなくて、手元にとって読むことのできる解説資料もつくっています。それもホームページ上からダウンロードできます。

○勝山委員

何か他に意見はありませんか。

○秋山委員

第2回部会に参加できなかったのですが、2023年の関東大震災100年というのは大きなエポックとなりますね。それに対して県や国土交通省の方で何かイベントを打つ動きや気配はあるのでしょうか。もし、そういうのがあればそれに乗っかる形で「丹沢では」という話で再生委員会として何か進められたらと思うのですが、いかがでしょうか。

○勝山新委員長

これについては鈴木委員に何か情報はありますか。

○鈴木委員

関東大震災から100年というのは大きな話と思いますが、今のところ国交省や県の水源税の関係でも表立った議論はないように思います。やはり関東大震災というと東京と横浜の火災による被害というのが一般の方々には多いので、山地の土砂災害という関心はこれからなのかなと思います。一部は土砂災害、山崩れのセミナーが沸々されているやに聞くが、組織だって準備しているというところまでには至っていないと思います。

○事務局

こちらにも特に聞いておりません。

○秋山委員

国や県でイベントがないのであれば、再生委員会でキャンペーンやイベントを打ってしかるべき内容なのではないかと思います。

○勝山新委員長

昨年、今年のコロナの影響で予算が残ることもあるでしょうから、前向きに検討していけたらと思います。他に何かありますか。

○糸長委員

日本建築学会では複合災害問題が大きなテーマになっています。関東大震災100年として複合災害としてしっかり考えようと学会で動きがある。地震だけでなく山崩れ等を含めて丹沢を複合災害という視点で見ることが重要だろう。また、近年話題になっているトヨタのエコシティーもそうだが、富士山の爆発も色んなところで話題になっている。神奈川県はどう考えているかわかりませんが、長期か短期かわかりませんが、もっと災害に関して丹沢大山の方ではしっかりと考える準備をしてもよいと思っています。神奈川県では動きはないが、静岡県では少しあるように聞いています。

○勝山新委員長

事務局の方はどうですか。とくに神奈川県ではまだこういう話はないと思いますが。

○事務局

何もないわけではないと思いますが、私たちの関る分野ではありません。先般の台風 19 号の被害を受けて、災害に強い森林づくりをしていこうという議論はありますが、糸長委員の話された大きなスケールでの話はありません。

○勝山新委員長

それでは、この件は検討の俎上に載せていきたいと思います。

次に県民事業部会からの報告です。小林部会長から報告をお願いします。

(イ) 県民事業専門部会

<小林会長より資料 9 にもとづき令和 2 年度の活動状況を報告>

○勝山新委員長

ありがとうございました。今の報告に対してご意見がありましたらどうぞ。

<質疑応答> 無し

○勝山新委員長

では次に進めたいと思います。次は調査専門部会からの報告です。糸長部会長から報告をお願いします。

(ウ) 調査専門部会

<糸長部会長より資料 10-1 にもとづき部会全般の令和 2 年度の活動状況を報告>

<3 件の助成調査研究のうち令和 2 年度末で終了した土井氏の研究成果について、本人から報告>

○糸長部会長

どうもありがとうございました。それではせっかくの機会ですから質問をいただきましょう。

では、私の方からいくつか教えてください。三谷先生が学生さんと卒論でやった研究ではシカとの因果関係ははっきりしなかったが、土井さんの研究では完全にシカ密度との相関関係はあると言ってよいのでしょうか。

○土井氏

やはりダニの種類によってというのが大きく、オオトゲチマダニとフタトゲチマダニ、それからヒゲ

ナガチマダニの3種に限ってはシカの影響が強くあると思っています。

○糸長部会長

丹沢は標高差が相当あるが、今回は基本的に里山エリアのものか。

○土井氏

一部、箱根の明神や丹沢のゴウラ沢の出会いは多少標高の高いところはあるが、その他はいわゆる裾野です。

○糸長部会長

生きものだから生息環境は重要と思うが、標高差、温度差はあまり配慮しなくてよいか。

○土井氏

やはり種によるところがあり、たとえばオオトゲチマダニは寒冷に対する耐久性が非常に強い種で、0℃でも活発に動いています。こうした種に限ってはあまり標高差の影響を受けていません。一部の種、ヤマトマダニは非常に暑熱に弱いので標高が高いところが好きという傾向があります。

○糸長部会長

はい。他にどうでしょうか。秋山さん何かありますか。

○秋山委員

実は質問したいと思っていたのですが、身近なところで恐れているものの一つがダニですが、病原体の保有率が丹沢では13%というのが非常に気になるところで、変動していく要因、たとえば運ぶ哺乳類が変化すると変わるとか、個体数密度が変わると高くなるという要因は考えられるのでしょうか。

○土井氏

考えられています。いわゆるリザーバーになっている動物が全国的にはシカと言われています。局的にどうなるかは実際にシカの血を取ってみないとわかりませんが、おそらくシカの影響を強く受けていると思います。島根県では狩猟でシカの個体数密度を減らすと、日本紅斑熱を保有するシカも低下していくことがわかっています。こうした主要なリザーバーの種類の動物の個体数変動は大きく影響しています。

○秋山委員

ありがとうございます。

○糸長部会長

では、これでおしまいにしますが、調査部会長からのお願いですが、継続していただけないか。助成金事業の内規では研究期間を3年と決めましたが、予算はたいしてありませんが、エリアを広げるなり中身を濃くして、重要なテーマでもあるので三谷さんたち他のグループとの協力や羽山先生のご尽

力も含めて継続を検討してほしいですね。

○土井氏

今年が大学院最終年度で行先が決まっていないので、そういうことにも対応可能かと思います。非常に気になるテーマでありますので前向きに考えさせてください。

○羽山委員

糸長先生、日大で雇ってもらえませんか。

○糸長部会長

佐藤雪太先生とコラボして獣医学科がどうでしょうか。それはともかく、なんらかの形で継続してほしいです。

○勝山新委員長

糸長先生、今年も新たな募集を7月からするのですね。

○糸長部会長

はい。3年やるとおしまいという内規を作りましたが、この研究については調査専門部会として継続を要請したいです。

○勝山新委員長

はい、ありがとうございました。それでは、調査部会からの報告をこれで終わりにします。

続きまして（2）令和2年度共催・後援イベント等活動報告集について、事務局から報告をお願いします。

【報告事項（2）】令和2年度共催・後援イベント等活動報告集

<事務局より資料11にもとづき令和2年度の共催後援イベント等活動状況を報告>

○勝山新委員長

ありがとうございました。終了時間がせまっていますので、次に進めさせていただきます。

次に、新会員の入会が久しぶりにありましたので、事務局から紹介をお願いします。

【報告事項（3）】新会員の入会

<事務局より資料12にもとづき新会員の株式会社グリーンメッセージを紹介>

○山田委員

はじめまして、山田です。食品会社ですから、すみません、帽子をかぶらせていただいております。

私どもカット野菜、食品をつくっております、皆様がスーパーで見るとようなカット野菜を製造しております。キューピー株式会社と JA 全農が共同出資して作った会社です。神奈川のキャベツやレタスを使いながら丹沢の水を使ってカット野菜を作っておりますので、ぜひ貢献させていただきたいと思っております。丹沢大山自然再生委員会に参画しました。よろしくお願いいたします。

○勝山新委員長

ありがとうございました。久しぶりの新会員です。コロナ禍ではありますが、丹沢大山自然再生委員会の活動への参加等いろいろとご協力をいただければありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。次に、次期「丹沢大山自然再生計画」の策定延期についてです。事務局から報告をお願いします。

【報告事項（4）】次期「丹沢大山自然再生計画」の策定延期について

<事務局より、コロナ禍による県庁内の職員応援シフトを引いているため、全庁的に計画策定を1年延期した旨報告>

○勝山新委員長

ありがとうございました。何か質問ありますか。はい、これで報告事項はすべて終了です。最後に「その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。オブザーバーの方を含めてどうでしょうか。

それではこれを持ちまして本日の議事と報告事項を終了させていただきます。ご協力をどうもありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

<事務局より、顧問の新堀豊彦氏のご逝去にあたり再生委員会として弔電を送った旨報告>

○事務局

議事進行をどうもありがとうございました。勝山委員長、どうぞこれからよろしくお願いいたします。また、羽山前委員長は4期8年の間、再生委員会をまとめていただき誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは、これを持ちまして第22回丹沢大山自然再生委員会を閉会させていただきます。皆様どうもありがとうございました。

以上